

令和4年度 事業計画

1 会議関係

(1) 監事会、理事会、評議員会

会議名	監事会	理事会	評議員会
開催回数	1回	3回	1回
開催時期	5月	6月(2回)、3月(1回)	6月

(2) 常設委員会

会議名	企画委員会	管路技術委員会	浄水技術委員会
開催回数	1回	2回	2回
開催時期	3月	10月、2月	10月、2月

2 公益目的事業

公1 「水道技術調査研究・開発事業」

(1) 研究開発事業関係

(厚生労働科学研究費による事業)

区分	期間	摘要
① 水道の基盤強化に資する技術の水道システムへの実装に向けた研究	令和2年度 ～令和4年度	水道事業における職員数の不足の中、水道管網内等における水質変動の予測や水質異常時における早期発見・通報を目的とするシステムの導入を目指した研究を実施

(共同研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 多様な社会・技術に適応した浄水システムに関する研究 (<i>A-Dreams</i> プロジェクト)	平成30年10月 ～令和3年9月 (研究) 令和3年10月 ～令和4年9月 (成果報告)	多様な社会・技術に適応した浄水システムに関する研究をテーマとし、将来を見据えた「スマートな浄水システムに関する研究」及び「官民協業による技術レベルの維持・向上に関する研究」を実施、成果報告会を開催
② 水道の基盤強化に資する管路の構築及び情報活用に関する研究 (<i>New Pipes</i> プロジェクト)	令和2年度 ～令和4年度 (研究) 令和5年度 (成果報告)	人口減少に伴う水需要の減少、少ない職員での維持管理の困難さ並びに近年頻発する自然災害への対応が求められる状況下でも持続的に水道サービスの維持向上等、水道基盤の強化を目指した管路網内の管理手法や情報の活用方法を明らかにすることを目的として実施
③ 水道の基盤強化に資する浄水システムの更新・再構築に関する研究 (<i>Aqua-MODELS</i> プロジェクト)	令和3年10月 ～令和6年9月 (研究) 令和6年10月 ～令和7年9月 (成果報告)	水道事業を取り巻く状況は大きく変化しており、水道事業の基盤強化が求められている。設備の更新、施設の再構築を適切に行い水道システムとしてのレベルアップを図ることを目的として実施

(受託・請負事業)

区 分	期 間	摘 要
① 第2期 紫外線水処理技術適用拡大プロジェクト (第2期 <i>UV-ACE</i>)	令和4年度 ～令和5年度 (研究) 令和6年度 (成果報告)	第1期活動内容を踏まえ、水道事業体のUV導入支援、浄水処理におけるUVの適用範囲拡大、水道事業以外への適用範囲拡大など、紫外線処理技術の適用拡大に向けた検討及び普及を目的として実施
② 水道のスマート化に関する研究 (第3期 <i>A-Smart</i> プロジェクト)	令和2年度 ～令和4年度	水道のスマート化の一環として、スマート水道メーターの普及に向け、令和元年度事業に引き続き、スマート水道メーター導入に係る課題や対応策を検討
③ 水道情報活用システム標準仕様審査業務(株)JECC	令和2年度 ～	水道事業におけるCPS/IoTの技術を活用した水道情報活用システムのルールを定めた「システム標準仕様」の改定に係る審査委員会を運営
④ 都市の消防水利に関する分野横断的研究会における資料データ収集整理業務ならびに研究会運営事務業務(名古屋大学)	令和2年度 ～令和4年度	人口減少社会に向けた実践的な消防水利の考え方について水道分野と消防分野における産官学が分野横断的に議論・検討する場である研究会の運営事務業務を実施

⑤ 水管橋の維持・修繕に関する研究	令和4年度 ～令和6年度	水管橋崩落事故を機に維持管理に関する課題や事故修理及び更新事例を共有するとともにICT等最新の技術を用いた維持管理手法を研究
-------------------	-----------------	--

(特別研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道技術研究成果活用事業 (管路分野)	平成26年度～	これまでに実施した研究成果を水道事業者、水道事業者関係者への普及を目的とし、事業者が抱える課題の共有、維持管理技能向上に向けた管路技術ワークショップを実施 (令和4年度は2回実施予定)
② 水道技術研究成果活用事業 (浄水分野)	平成26年度～	これまでに実施した研究成果を水道事業者、水道事業者関係者への普及を目的とし、講習会の開催、浄水処理ワークショップ等をはじめ、手引きや事例集の作成やソフトの改訂を実施

(自主研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道の国際比較に関する研究	平成27年度～	先進諸外国の水道事業に関する調査、有用な情報の収集及び発信等を実施
② 海外ICT等活用調査	平成27年度～	ICT等を活用した水道インフラのスマート化について、先行する諸外国の動向や導入施設を調査、国内との比較検討

(水道データベース事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道情報データベース等の構築	平成23年度～	事故情報を含む管路情報(布設状況等)の収集及び収集データの分析
② PIの効果的活用調査	平成18年度～	全国の水道事業者の事業等に関するデータを用いて分析

(2) 出版事業関係

技術資料・報告書・マニュアル等書籍の作成・出版・販売を実施

(3) 研修・普及推進事業関係

- ① 水道技術セミナーの開催（年2回）
- ② 膜ろ過浄水施設研修会の開催（年1回）
- ③ 紫外線処理設備研修会の開催（年1回）
- ④ 九州・中四国ブロック研究会の開催（年1回）
- ⑤ JWRC 水道講座の開催（年2回）
- ⑥ 「A-Batons+」の普及活動

(4) 水道事業者等への支援活動関係

- ① 水道事業者等委員会へのセンター役職員の参加
- ② 水道事業者等主催の技術研修会等への講師派遣
- ③ 水道事業者等への技術支援（JWRC 水道技術等相談室等）

公2 「国際交流事業」

(1) 水道技術国際シンポジウム関係

- ① シンポジウム開催に代わり、セミナー方式での開催を検討

(2) Watershare 活動（オランダ水循環研究所主催）

- ① 調査活動への参加
- ② 年次総会への出席

(3) 国際会議等への参加及び発表

- ① IWA World Water Congress & Exhibition 令和4年9月11日～15日 デンマーク/コペンハーゲン
- ② 2022 IUVA Americas Conference 令和4年9月26日～28日 アメリカ/オハイオ州 シンシナティ

(4) 技術研修員受入

開発途上国の経済・社会開発に必要な人材養成の一環として、海外研修員を受入し、企業や事業者等での研修を通じた人材育成を実施

公3 「技術支援事業」

- (1) 管路技術支援事業、浄水技術支援事業 及び 公募型実証研究支援事業（A-IDEA）を実施
- (2) 水道施設の点検を含む維持・修繕に関する新技術事例集の作成（Aqua-LIST）

3 その他の事業

- (1) 水道技術ジャーナル（会報）の発行（四半期刊・No. 103～106）
- (2) 文献抄録の作成
- (3) ホームページ等整備事業関係
 ホームページの運用、維持管理等
- (4) 水道ホットニュースの配信
- (5) 第64回「水道週間」への協力（令和4年6月1日～7日）
- (6) 会員名簿（令和4年7月1日現在）の作成
- (7) 令和4年度（公社）日本水道協会 全国会議（水道研究発表会）で論文を発表
 （令和4年10月19日～21日 名古屋市）
- (8) 水道施設管理技士資格制度協議会の開催